

平成29年市政10大ニュース

鳥取市の平成29年はどんな年だったのでしょうか？
市民のみなさんに関わりの深い市政に関する出来事の中から、自治会や文化、福祉、教育、経済界などでご活躍中の12人が平成29年市政10大ニュースを選考しました。

問い合わせ先 本庁舎広報室 ☎0857-20-3159
☎0857-20-3056

8位 麒麟のまち関西情報発信拠点が、大阪の経済・文化の中心地中之島にオープン



鳥取県東部と兵庫県北但西の1市6町で構成する「麒麟のまち圏域」の情報発信拠点が、4月10日、大阪の「中之島フェスティバルタワー」にオープンしました。麒麟のまち圏域の魅力的な特産品や優れた観光資源など、さまざまな魅力を発信し、交流人口の増加、地元産品の販路拡大、移住の促進を図ります。

4位 新本庁舎の施工業者が決定し、建設工事に着工



新本庁舎の建設については、「鳥取市新本庁舎建設工事発注方針」に基づき施工業者を決定し、11月21日の起工式を経て、新築工事に着手しました。防災、市民サービスの拠点であり、山陰東部圏域の一体的な発展の礎となる新本庁舎の建設を、平成31年秋の開庁に向けて着実に進めます。

9位 「北前船寄港地フォーラム in 鳥取」開催



「北前船」の寄港地同士の連携や交流による地域活性化を目的として、第22回北前船寄港地フォーラムが11月24日に開催されました。環日本海地域の交流を深めるとともに、国際観光（インバウンド誘客）について議論するなど、国際色豊かな内容となりました。今後も日本海側の自治体間や地域間同士の交流を深めます。

5位 ジャマイカ陸上チームの東京オリンピックキャンプ地に鳥取市が選ばれる



ジャマイカ陸上チームの東京オリンピック事前キャンプ地として本市が選ばれ、11月8日に協定を締結しました。本市でキャンプを行うのは2007年世界陸上大阪大会、2015年世界陸上北京大会に続き3回目。世界レベルの選手を身近に見ることで、本市の陸上競技のレベルアップやスポーツ振興につながります。

10位 台風18号への対応



9月17日、18日に来襲した台風18号は、土砂崩れや河川の増水による床上・床下浸水など本市に多くの被害をもたらしました。本市は、被災者への災害見舞金の支給を決定したほか、11月17日の臨時議会で11億748万円の補正予算の議決を受けました。今後は、災害復旧を可能な限り速やかに進めます。

6位 鳥取市河原町西郷地区にて「いなば西郷工芸の郷」がスタート



河原町西郷地区が工芸作家などを受け入れ、豊かな地域文化の育成と地域活性化をめざす「いなば西郷工芸の郷」構想を策定、4月22日に同地区で「郷開き」が行われました。本市も作業場の建設や窯の設置について支援を行っています。この取り組みが地方創生の先進的なモデルケースとなるよう今後も支援を行います。

1位 第5回日本「住みたい田舎」ベストランキング総合部門1位初受賞



「2017年版住みたい田舎ベストランキング（宝島社「田舎暮らしの本」2月号）」で、鳥取市が総合部門の第1位に輝きました。第5回となる「住みたい田舎ランキング」は、全国500の市町村を対象にアンケートを実施し、田舎暮らしに最適な自治体をランキングしたもので、「鳥取市の自然が豊かで暮らしやすく、幅広い世代を応援する施策が充実していること」が評価されました。総合部門1位の評価をいただいたことは大変光栄であり、今後も引き続き移住定住施策を推進します。

2位 平成30年4月の中核市移行が正式決定

11月27日に中核市指定に係る政令が公布され、本市の平成30年4月1日の中核市移行が正式に決まりました。中核市移行は、「住んでよかった、いつまでも暮らしたい」まちづくり、また、山陰東部圏域全体の発展の礎となるための新たな第一歩であり、市民に身近なサービスの充実、拡大する権限を生かし、市民が暮らしやすい魅力と活力のあるまちづくり、地域経済や圏域の発展をめざし、山陰東部圏域の中核となる都市づくりを進めます。



選考委員 (選考会は平成29年11月27日開催)

鳥取市自治連合会	会長	渡邊 勘治郎 さん
鳥取市文化団体協議会	会長	本城 美佐子 さん
鳥取市社会福祉協議会	会長	石井 義忠 さん
鳥取市教育委員会	教育長職務代理者	藤下 大 さん
とっとり若者地方創生会議	会長	大島 健太郎 さん
鳥取青年会議所	理事長	吉田 友伸 さん
鳥取市政懇話会	委員長	前田 一史 さん
市政記者クラブ	委員長	園部 仁史 さん
市政記者クラブ	委員長	坂下 芳史 さん
市政記者クラブ	委員長	岡村 弘彦 さん
鳥取市議会	議長	下村 佳義 さん
鳥取市	市長	深澤 義彦 さん

7位 砂の美術館10周年記念事業「鳥取砂のルネッサンス2017」開催



「砂像」を用いて新たな価値観を創り、ふるさとの郷土愛の醸成や市のブランド向上を目的とした「鳥取砂のルネッサンス」を開催しました。鳥取駅前周辺を会場に、11月3日から5日まで「国内砂像選手権 in 鳥取」「砂像サミット」などのイベントを行い、「砂像文化」の定着とまちの活性化に貢献しました。

3位 33年ぶりの大雪による被害への対応



2月に降った雪は、昭和59年以来33年ぶりの豪雪となり、市民生活に大きな影響を及ぼしました。応急的な対応として、市民のみなさんが除雪された雪を持ち込むことのできる排雪場所を市内に複数設置したほか、各町内会が除雪などに要した経費の一部を助成する「鳥取市コミュニティ雪害対策臨時支援事業」を予算化し、各町内会の除雪作業を支援しました。今後も、除雪計画の見直しなどを行うとともに、国、県、関係機関との連携を図りながら、大雪への対策を行います。